

【国内初、“ISA制度”採用のハイレベルエンジニア養成校「CODEGYM」を運営するLABOT^{ラボット}】

**ISAプロバイダー事業の拡大に向けて、
レベニュー・ベスト・ファイナンス（RBF）を活用した資金調達を実施**

～香港拠点のフィンテック・Choco UpとのクロスボーダーRBFを初めて実現～

国内初の学費出世払い方式（“所得配分契約、ISA”）を採用したハイレベルエンジニア養成校「CODEGYM（コードジム）」を運営する株式会社LABOT（東京都渋谷区、代表取締役 鶴田 浩之）は、8月9日、ISAプロバイダー事業の拡大に向けて、香港に拠点を置く新興フィンテック企業でレベニュー・ベスト・ファイナンス（RBF）のプラットフォームを運営する香港のChoco Up（Co-founder and CEO：Percy Hung、<https://choco-up.com/>）からクロスボーダーの資金調達を実施致しました。

■スタートアップの間で広まりつつある資金調達手法「レベニュー・ベスト・ファイナンス（RBF）」とは？将来の売上高を契約当事者間で配分するレベニューシェアの観点でRBFはISAに類似

RBFは、将来の売上高から一定額をロイヤリティとして支払う契約に基づく資金調達方法です。スタートアップを取り巻く資金調達手法が金融テクノロジーの進化と歩調を合わせてダイナミックに変化する中、RBFは株式発行でも銀行融資でもない新たな資金調達方法として注目され、2027年には400億ドルを超える規模にまで市場が急拡大（出典元：Allied Market Research）すると見込まれており、スタートアップを中心に活用が広がっています。

LABOTは、教育機会均等化を目指し、米国で生まれたスクールと学生間の学費支払いに関する新たな契約モデルであるISAを採用したハイレベルエンジニア養成校「CODEGYM」を運営していますが、ISAを活用した教育サービスをさらに拡大するため、RBFによる資金調達を今回実施する運びとなりました。RBFとISAは、将来の売上高や収入を契約当事者間で配分するというレベニューシェアの考え方に基づいています。RBFはエクイティ調達とは違って希薄化が発生せず、スタートアップが経営権を確保しながら事業成長に必要な資金を迅速に提供可能なため、バリュエーションの早期向上を目指した活用が期待されています。

■2022年中に開始予定の“ISAプロバイダー事業”の拡大に向けた資金調達の実施

日本においては、リカレント教育やリスクリングの重要性が増しており、人財投資への注目が高まっています。デジタル社会の到来に向けた我が国の深刻なIT人材不足を背景に、プログラミング教育へのニーズが増すこと、また出世払いであるISAの仕組みを検討するスクールが国内外で増えることも予想されます。

今後、当社で培ってきたISAの仕組みを利用したスクール運営のノウハウやISA導入に必要な資金支援といった金融サービスをISA導入ニーズのある国内外のスクールに提供する“ISAプロバイダー事業”を加速させたいという私どもの思いから、この度、RBFによる資金調達を実施するに至りました。尚、ISAプロバイダー事業は2022年中に開始する予定です。

■LABOTがハイレベルなエンジニア人材の輩出を通じて、教育機会の均等化を目指す理由

代表取締役CEOの鶴田浩之は、体が弱く不登校だった子供時代にプログラミングと出会った数年後、大学在学中の20歳で起業し、人気アプリ「すごい時間割」や「ゲームエイト」を開発した経験、自身の成長を様々な教師に助けてもらったという経験などから、家庭環境や学歴、現在の職種といった環境にとられない新たな学習機会を提供することを使命に、ISAを採用するハイレベルエンジニア養成校「CO DEGYM（コードジム）」を立ち上げました。

当社は、コンピュータに縁がない仕事をしていた人でも独立してフリーランスになれる、初期のスタートアップに参画するために必要なスキルや実践的なプログラミング力を身に付けることができる教育プログラムを提供しています。今後も、「テクノロジーと金融の力をかけ合わせ、未来の教育モデルを提案する」をミッションに、「人の可能性に投資する」をビジョンに掲げ、LABOTが培ってきたISA運営のノウハウを通じた教育機会を提供し、国内外で事業展開を加速させて参ります。

■Choco Up・Percy Hung コメント



「教育機会の均等化を目指し、人の可能性に投資する」という社会貢献度の高いLABOTの事業を資金面で支援したいという思いから、難易度が高いクロスボーダーのRBFをLABOT社に今回提供することを決意致しました。現在、多くのアジア諸国では経済的な事情から教育を満足に受けられない方々がまだまだたくさん存在します。誰もが平等に教育を受けられるチャンスを提供できるISAの仕組みは革新的なアイデアであり、国境を超えてこの仕組みを社会実装しようとする“ISAプロバイダー事業”は世界から注目を集めるソーシャルな事業に発展すると思っています。今後も、RBFによる資金支援を通じてLABOTの事業成長をお手伝いできればと考えております。」

“Today I am very pleased to announce that LABOT and Choco Up came to the first agreement for the cross-border revenue-based financing. Choco Up believes in LABOT’s high growth potential as an innovative startup seeking to disrupt the education space with an ISA model.

In many developing asian countries there still exists countless aspiring young talents who do not have access to quality education that can unlock their full potential. Choco Up remains keen to provide growth capital to LABOT that will develop the ISA-based investment platform to create the world where everyone can have an equal access to life-changing education experience.

■代表取締役CEO・鶴田浩之コメント



「ベンチャー企業の資金調達手段が多様化している中で、当社の財務戦略の一部において香港を拠点とするChoco Up社によるRBFを活用することに致しました。企業の将来性を担保として考慮したファイナンス手法は、当社の主力事業を構成するISA（教育にかかる学費の所得配分契約）のコンセプトと通ずるものがあります。引き続き「人の可能性に投資する」という当社のビジョン、「テクノロジーと金融の力をかけ合わせ、未来の教育を提案する。」というミッションのもと、事業開発に取り組んで参ります。」

■取締役CFO・門前太作コメント



「今回、当社はISAというユニークな学費支払い方式を日本で初めて採用した教育スタートアップとして、バリュエーションを早期に高めるべく通常のコーポレートファイナンスに加えてRBFによるアセットファイナンスを組み合わせた財務施策を実行致しました。今後、ISAに基づく教育投資の実績を積み上げながら、国内外にISAプロバイダー事業を大きく展開するためのファンドの活用も視野に入れつつ、私どもの目指す教育投資のエコノミクス構想を実現していきたいと考えています」

■Choco Up 概要

社名 : Choco Up.Inc
代表者 : Co-founder & CEO・Percy Hung
URL : <https://choco-up.com/>

■株式会社LABOT 概要

社名 : 株式会社LABOT（ラボット）
会社所在地 : 東京都渋谷区松濤1-28-2 WORKCOURT渋谷松濤
設立年月日 : 2019年7月1日
代表者 : 代表取締役 鶴田浩之
URL : <https://labot.inc>
事業内容 : 学費後払い／社会人の学び直し教育のプログラミングスクール「CODEGYM エンジニア転職」の運営、学生向けのエンジニア新卒を目指すプログラミングスクール「CODEGYM Academy」の運営、教養としてプログラミングを学習したい方を対象とした学習サービス「CODEGYM プログラミング教養」の運営、人材ソリューション事業、ISAを用致金融ソリューション事業